

1月の参観・こんだん会は
新しい試みで 午前中に全体会・参観日
こんだん会と続けて行う事にしました。

先生たちも、参観されるお家の人たちも
どうなるのか？ハラハラワクワクで
この日を迎えました。

1月14日(年少) 1月16日(年中) 1月17日(年長)
1月14日年少組 反響もレバ大成功
コンパクトでよかった。楽しかった。 まあまあスタート。
そして1月16日(年中)

大変だ。もうさくら組の細田先生がかぜの熱出レバ
保育するのは無理とお医者さんから……どうする？

そこでAppleが保育に入ることになり
何年ぶりでしょうか参観日と私がするのぼろ
何だかワクワクしてクラス入りました。
子どももお母さんたちも緊張。私も緊張。
あ、という間の1時間半が終了しました。そして

あーおもしろかった。

保育は楽しい。子どもの前に立っていると
何でもかんでも新鮮そのもの。

子どもたちとバカ通った時 “もっと一緒にいたい”

気持ちよくらんできました

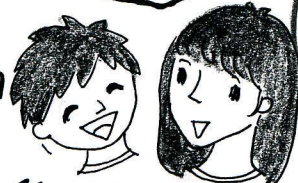
この興奮が一体何人なのだろうか 団長として毎日
子どもと接してはいるのとはちがうものなのさ。

クラスを作っている一体感

子どもたちの顔がキラキラ 輝いてる
お母さんたちの顔もここに光っている



団長通信
しんところろ
おまけ
は.26.2
レバレバ



参観・こんだん会を終えました。大成功
よくきくことと。

新所沢幼稚園は「親参加型幼稚園」と。
私が名づけたのかしら？ 親参加型幼稚園とか

多くの幼稚園は こんだん会・参観日等、あまりやらないらしい
親が幼稚園に来る時はおたにやれよとのこと。

えー、そうなんですか？ 幼児期？ 人生のふたつとでしょ？
子どもたち、いい人間が 人として 一番かがやいている
幼児期を かがやいている時期と かがやいている時期を
子どもたちと私たちと親たちと共有したい。
これが 新所幼の考え方のようです。

こうした事が「親参加型」というのでしょうか？
だとしたら、親が参加するの子どもたちは どんたに？ 参観
るといふは、だ、大抵はお家の人にはりき、いかに
見たいんのですもの。そして、先生たちは子どもたちを かがや
かせたいんです。そして、それ お家の人たちは かがやく子ども
を見たいんのですもの。

右のような
感想をいただきました。
しんとこは しんとこの
教育を目標とします。

先日の参観と懇談会をいっしょにやったこと。
とくに せいじ等 感じる事はなく、私としては
充実した内容に 満足したという一言でした。
確かに 沢山ある他の幼稚園では そんなに
園に行く機会はない……とか 話は聞き覚えが
一番可愛い この時期の様子を見たり聞いたり
いせのお母様達との交流もできたり。本当に
ありがたいと 思っている。私には うれやまし
い。と 言いたくなります。

子どもの一番 かがやいているこの時期を
そのかがやきをお家の人と一歩先
で共有したい。これが

これだよ。これ。 いいなあ。